

活動報告(平成24年1月～3月)

内 容

- ✚ 時津港（ウォーターフロント公園）周辺のごみ拾い
- ✚ カンボジア支援
 - ～課題解決のため、再びボタンバンへ～ （友岡 純一会員）
 - * カンボジア支援への思い 寄稿
 - ～一粒のキャンディー 私とカンボジア～ （時津町 馬場 政治）
 - * カンボジアからお礼のビデオが届く
 - ～プレアプット小学校から時津小学校へビデオレター～
- ✚ 地球温暖化防止啓発活動
 - * 時津町立 時津小学校 4年生 「総合的な学習」発表会に参加
 - * 平成23年度 ながさき節電コンテスト総合授賞式
- ✚ 食の安全と食育
 - * 食育に関する交流会と会議
 - * 食育推進広域ブロック会議
- ✚ 協働事業（放課後子ども教室）
 - * 平成23年度“とぎつ いただきますクッキング教室”終了～
 - * 寄 稿 （長崎大学 教育学部 4年 上田 紋華）
 - ～子どもたちの学びの場を支えていきたい～
- ✚ トピックス
 - * 畠山 重篤氏 フォレストヒーローズ賞を受賞
- ✚ 当面の予定
- ✚ ホームページ掲載記事リスト（平成24年1月～3月）

活動の詳細

★ 時津港（ウォーターフロント公園）周辺のごみ拾い 3月24日（土）実施



漂着ごみ拾い（回収）

前日から降り続いた激しい雨に、やきもきさせられたが、朝方には雨もやみ、

集合時間の午前9時には薄曇りのやや肌寒さを感じる天気となった。当法人の呼び掛けに、役場職員や自治会役員の皆さん及び十八銀行や親和銀行、ケンコーホーム、一般の地域住民の方など約80人の参加をいただいた。

ごみ拾いは海上班（船から浮遊ごみを回収）と陸上班に分かれ、午前11時までの約2時間実施した。集めたごみ（約1.1トン）は、時津町の2トン車と当法人会員の軽トラ（0.5トン車）3台で、日並郷のクリーンセンターま

で運び処理した。

回収ごみの中には、レジ袋や食品トレー、発泡スチロール、缶、ペットボトル、菓子袋、たばこの吸殻など、自然に返らないごみも多かった。大村湾内にある時津港には、外国からの漂着物がない分恵まれているが、国内でもまだまだ環境美化・保全意識の低さが目に付く。

作業終了後は、浦郷公民館で当法人のご婦人方が、早朝から準備した軽食（ぶた汁とおにぎり、甘いものにお茶）が振る舞われた。三寒四温の時節柄とはいえ、前日より8度も低い気温に「おいしいぶた汁をいただき、体が温まりました」という声も聞かれた。

★ カンボジア支援

昨年10月の支援訪問の際に、課題となっていた飲料水やソーラー発電などの問題を解決するため、2月に再訪問した友岡 純一会員の報告です。

～課題解決のため、再びバタンバンへ～

昨年10月のNPO法人 コミュニティ時津会員など6人の訪問に続き、課題であった「ノリア孤児院の飲める水づくりとソーラー発電による夜の明かり確保」の件で、2月にカンボジア（バタンバン州）へ行ってきました。

ここにはアメリカのボランティア団体が掘



コンクリート製雨水タンク

った井戸があります。この井戸にコミュニティ時津が、ポンプとタンクを寄贈、取り付けて使っておりますが、水に塩分・シリカ分が含

まれていて飲料水としては使えず、池の水を浄化（2回）して使っています。しかしながらこれだけでは水量が足りないという問題がありました。そこで、雨水をため（60トン）それを浄化して飲料水化するため、コンクリート製の雨水タンクに屋根を取り付け、施設内の屋根から雨水をためる導水システムづくりの段取りをしてきました。4月には工事も完了し、施設の子どもたち70人分の飲み水が確保されます。

ソーラー発電については、資材の購入及び据え付け工事の段取りをしてきました。運転が始まると、集会所（食堂）、キッチン、Girls・Boysハウスに夜間照明が灯ります。

次の段階は、ソーラー発電の直流を交流に変換するコンバーター（DC12VからAC100Vへ）を贈り、日本の家庭のように、パソコンの使

用や携帯電話の充電ができるようにします。

次に、現地日本人駐在員がいるテラ・ルネサンスの人たちと、バタンバン郊外（車で1.5時間）のカンボジアで最も貧困層の多い村へ行って来ました。この小学校には、テラ・ルネサンスの力添えで、トイレ・教員宿舎・雨水タンク・ソーラー発電（照明及び携帯電話の充電に使用）の設備があり、カンボジアでは最も進んでいます。この学校の教員主導による子豚の飼育システムづくりの視察及び援助をしてきました。

今年度もコミュニティ時津の活動として「カンボジアの飲める水づくり」「ソーラー発電による夜間照明の設置」「子豚飼育システムづくり」「文化交流」を続けていくつもりです。

皆さまのご支援をよろしくお願いします。

* カンボジア支援への思い 寄稿

昨年の支援訪問前に、時津町野田郷在住の馬場さんから「カンボジア支援のために・・・」と、当法人に多額のご寄付を頂きました。馬場さんにその思いを記してもらいました。

～一粒のキャンディー 私とカンボジア～ 寄稿 時津町 馬場政治

今から約10年前カンボジアへ一人旅、ベト



プノンペンの夜の物ごい

ナムからセムリアップへ。ローカルガイドさんに案内していただき、プノンペンから少し離れた小さな村に着き、「目に飛び込んで来たカンボジア」に私は胸を打

たれました。

子どもたちは骨と皮、素足。服は着ているけど汚れが酷（ひど）い。それでも子どもたちは一生懸命に生きている。3～4歳ぐらいの子どもたちが道路で何かして遊んでいる。ふと私が近付いて行って2人の子どもにキャンディーをあげたのが始まり。おいしそうに笑

顔を作ってくれた。どこからとなく何十人も
の子どもたちが近寄って来て私をジーンと見
ている。他の子どもたちにも、持って行った
キャンディーを全部あげたら、何人かの子ど
もに足りなくて、その子どもたちが私をジ
ーンと見詰めていたのが、今でも私の胸に焼き

付いて離れません。

その後、何かカンボジアの子どもにしてあ
げたいとの思いから少額ですけど寄付させて
いただきました。どうかカンボジアの子ども
たちのために使ってください。少しは私の胸
の支（つか）えが取れたような気がします。

* カンボジアからお礼のビデオが届く

～フレアプット小学校から時津小学校へビデオレター～



募金で建設した教員宿舎

カンボジア・プ
レアプット小学
校に文房具や衣
類を贈っている
時津小学校の子
どもにこのほど、ビデオレターが届いた。当
法人と協働で活動が続ける現地のテラ・ルネ

サンスの職員が、制作して送ってくれたもの。
子どもたちが一人一人合掌してお礼を述べる
姿が映っていた。

時津小学校ではこのビデオを、3月7日(水)
全体集会の中で上映、進行役の子どもは「ま
た次も贈りましょう」と呼び掛けていた。

★ 地球温暖化防止 啓発活動

* 時津町立時津小学校 4 年生 「総合的な学習」



発表風景 お母さん方の参加も

時津町立時津小
学校（生徒数 519
人、柏田 正 校長）
4 年生（91 人）の
「総合的な学習」
の発表会に、当法人から 2 人（青山・田窪）
と元村二老人会（睦会）の山本幸雄氏、日並
郷の小林 洋海氏がゲストティーチャーとし
て招かれ、子どもたちの学習成果発表を聞いた。

今年度は時津自然体験として「時津の環境

2月29日（水）

に関心を持ち、進んで調べたり自分たちにて
きることに挑戦したりする」を狙いとして 1
年間学習してきた。

当法人の 2 人は、校長先生のあいさつの後、
青山が時津川と大村湾について、田窪が地球
温暖化防止についての話をした。

発表会は児童を 12 班に分け、それぞれの学
習グループ（①川グループ ②環境グループ
③ホテルグループ）が、テーマ別に発表を行
なった。発表役と聞き役が交代、6 つのコー
ナー（発表場所）を移動して、発表会が進め

られた。基本的には全員が発表した。コーナーごとに質疑応答を行い、良かった点などの感想も述べられた。

それぞれ模造紙に学習したことをまとめ、壁新聞として掲示しながら発表が行われた。学習時間があまりなかったということであったが、細かなところまでよく調べ、長文をメモも見ないで発表する子もいて感心した。

この学習の狙いのように、調べたことの中

から自分たちにできることを見つけチャレンジしてくれることを期待している。

ゲストティーチャーの山本さんは、丸田橋を中心に約100mの範囲を、地区老人会の皆さんと一緒に、長年にわたって草刈り清掃（年4回）を行なっている方。小林さんはホテルの幼虫を、町内の各小学校に教材として提供したり、自らも町内の川に放流するなど、ホテルの里づくりをしている方。

* 平成23年度 ながさき節電コンテスト総合授賞式 3月17日（土）



菊森会長のあいさつ

長崎ブリック
ホール3階 国際
会議場で、ながさ
き省エネコンソ
ーシアム（事務

局：長崎県地球温暖化防止活動推進センター）主催の「平成23年度 ながさき節電コンテスト 総合授賞式」が開催された。

授賞式では県内省エネライフスタイル調査報告や受賞者表彰、基調講演などが行われた。

ながさき省エネコンソーシアム会長 菊森淳文氏と県未来環境推進課 課長（代理）のあいさつの後、（財）ながさき地域政策研究所 研

究員 江島 伊智子氏が、昨年実施した省エネライフスタイルアンケート調査報告を行なった。

節電コンテスト授賞式では、節電コンテストの実施・審査要領について推進センター松本 敏子事務局長が説明を行い、菊森会長が夏・冬コンテストの団体の部と個人の部の最優秀賞と優秀賞及びアイデア賞に対して表彰状を授与した。

基調講演では、建築家の伊藤 恭行氏が「暮らしと環境をデザインする未来の住まいづくり」というテーマで講演した。

次回節電コンテストにご参加ください！

※ 節電コンテストの結果

取り組み期間は、夏（8月～9月中の1ヵ月間）と冬（12月～1月中の1ヵ月間）。当法人から4チーム 22世帯が参加。節電と二酸化炭素の削減に貢献した。

夏・冬で延べ1,773世帯が参加（夏が350世帯、冬は1,423世帯と、参加世帯が大幅に増えた）。

長崎県合計（2ヵ月間）で、電力削減量 140,735KWh CO₂削減量 51,931Kg

★ 食の安全と食育

* 食育に関する交流会と会議 1月31日(火)

九州農政局長崎地域センター主催の「食育アイランド九州」長崎交流会が、諫早で開催され“とぎついただきますクッキング教室”の3人(青山、中原、樋口)が参加した。

今回は「食料自給率と食育」をテーマに意見交換が行われた。その後、そば打ちを体験し、手打ちそばを食べて参加者間の交流を深めた。

* 食育推進広域ブロック会議 3月2日(金)

第2次長崎県食育推進計画に基づき「食育推進広域ブロック会議」が設置され、食育関係団体、広域的に活動する地域活動団体と行政の連携を図るため、県内3ヵ所で会議が開催された。

3月2日(金)は長崎会場で、当法人から青山(食育推進広域ブロック会議委員)が出席、ほか長与町や時津町など行政の担当者らが出席し、各団体、行政の実情や取り組みが報告された。

協働事業

★ 平成23年度 放課後子ども教室

* “とぎついただきますクッキング教室” 終了



時津小教室の様子

時津町内4つの小学校区で、合計44回実施した放課後子ども教室“いただきます

クッキング教室”は、昨年5月にスタートし、今年2月の最終回で、子どもはご飯とみそ汁づくりの卒業(修了)試験を受けた。作った料理は、保護者やスタッフを含め全員で賞味。

テストには全員合格。“思い出”のDVDの放映や卒業(修了)証書を授与し、全日程を終

了した。

調理実習や野外での体験学習を通じ、この1年間で、105人の参加児童(小学校3年~6年)が「体にいい料理、環境にいい料理」を学んだ。

2月の教室最終週には、保護者も参加。“いただきますクッキング教室”の成果を見てもらい、教室と家庭の交流を図った。保護者からは「家庭でも積極的に料理をするようになった」「野菜の皮や芯を捨てないでと、子どもから教えられた」などの声が聞かれた。

このクッキング教室には、長崎大学の教育学部や環境科学部の学生20数人が、スタッフとして参加。今年度の学生代表としてお世話いただいた上田さんに、1年間の感想を寄せてもらった。

～子どもたちの学びの場を支えていきたい～

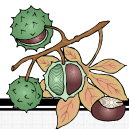
寄稿 長崎大学 教育学部 4年 上田紋華



左から2人目が上田さん(とぎつ夏まつり)

クッキング教室での出来事です。子どもがつぎ分けた料理をさっとお弁当箱に移しているのです。「○○ちゃん、持って帰るの？」と聞くと「家族にあげるの」とにこり。一生懸命作ったものを家族に食べさせたいという真っ直ぐな思いに、私は心が温かくなりました。

私は小学校の先生を目指しています。そしてクッキング教室に出会い、「いただきます」がきちんとと言える子どもたちを育てたいと思いました。「いただきます」がきちんとと言える子は、周りの人や物を大切にし、思いやりのある子だからです。それがクッキング教室の子どもたちの姿から見えます。これからも子どもたちの学びの場を少しでも支えていけたらと思っています。



トピックス

～「森は海の恋人」の畠山 重篤氏 フォレストヒーローズ賞を受賞～

一昨年2月、時津公民館で「森は海の恋人」運動の講演をしてくださった畠山 重篤氏が、2011年度の「国際森林フォーラム フォレストヒーローズ」に選ばれ受賞しました。森林保全の功績が評価されたものです。

畠山 重篤氏の受賞は平成24年2月9日。表彰式で畠山氏は「20年間かけて海をよみがえらせたが、東日本大震災の大津波でカキも何もかも失った。だが1カ月ほどで海に魚が戻って来た。周りの森林がしっかり保全されていたからだ」と、大震災後の海を語りました。

また畠山氏は「木を植えることはとても大事だが、人々の心に自然保護の木を植えることがもっと大切だ」と、常々語っています。(YA)

◎ 畠山 重篤先生とコミュニティ時津！！



時津公民館での畠山先生

時津公民館での講演会前日にチリ沖地震が発生し、翌日(講演会当日)、東北地方は津波被害を受けました。畠山先生は、講演終了後1泊の予定をキャンセルし、早々に気仙沼へ戻られました。それからほぼ1年後の3月11日の東北沖地震で、多くの犠牲者を出したのはご存じの通りです。

当法人は皆さんに募金をお願いし「日本赤十字社」と「森は海の恋人緊急支援会議」に、総計34万9千円を贈りました。「森は海の恋人緊急支援会議」からは、ノルウェー、アメリカ、韓国など、世界各国から2,250万円の義援金を頂いた旨、礼状が届きました。

当面の予定

★ NPO 関係

6月〇日 平成24年 NPO 法人 コミュニティ時津総会

(日時決定したら正会員の皆さんに、案内状を差し上げます)

★ 協働事業関係

いただきますクッキング教室は、参加者募集の上、来年度も実施します。

ホームページ


★ ホームページ掲載記事リスト (1月~3月 ホームページ 12件 ブログ 7件)

情報満載のホームページも開いてみよう!

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 平成24年度 時津町元村1自治会 | 7. クッキング教室修了式 (東部コミセン) |
| 2. 時津港周辺のごみ拾い | 8. クッキング教室修了式 (時津小学校) |
| 3. 時津港周辺のごみ拾いのご案内 | 9. クッキング教室修了式 (北部コミセン) |
| 4. 時津小学校4年生 学習発表会 | 10. 時津川改修工事説明会 (丸田橋周辺) |
| 5. クッキング教室修了式 (福祉センター) | 11. 平成24年 時津町成人式 |
| 6. 長崎県 郡市対抗県下一周駅伝大会 | 12. 第31号会報 (コミュニティ時津) |

ホームページアドレス : <http://www.togitu.org> ブログ : <http://togitu.blog65.fc2.com/>

ブログへは当法人のホームページのトップページからアクセスできます。

《ブログ入口  **Go!**》という表示があります、**Go!** をクリックすると開きます。

★ 会員の皆さんへ

4月から新年度に入りました。年会費はお近くの理事にお渡しいただくか、下記預金口座への振り込みをお願いいたします。誠に勝手なお願いですが、年会費は年度初めにご納入くださるようお願いいたします。

十八銀行時津支店	普通 1 9 1 9 7 3	} 口座名 :
親和銀行時津支店	普通 2 5 7 5 9 1 9	

【新会員募集も行なっています。お近くの当法人会員にお問い合わせください】

 NPO 法人
コミュニティ時津

発行元 : NPO 法人 コミュニティ時津 事務局
〒851-2105 長崎県西彼杵郡時津町浦郷 46 番地 22
TEL/FAX : 095-840-2140 e-mail info@togitu.org
URL <http://www.togitu.org>